

2026年 認知症月間記念講演会

9月は認知症月間、9月21日は認知症の日です。
認知症の本人の声を聴き、認知症に対する理解を深め、ともに支え合って
自分らしく暮らしていくために、私たちにできることを一緒に考えましょう！

日時：2026年9月30日（水）
14:00～16:00（受付開始 13:30）

会場：大阪市立東成区民センター 小ホール
（大阪市東成区大今里西3-2-17）

定員200名
参加費無料
事前申込・先着順

プログラム

【第1部】基調講演 14:00～

テーマ『認知症があってもなくても、ともに自分らしく
～発信力を高めよう、語りあおう～』

講師：永田 久美子 氏

（認知症介護研究・研修東京センター センター長特命補佐）



【第2部】シンポジウム 14:45～

テーマ『私たちから、今、伝えたいこと』みなさんと語り合いましょう！

シンポジスト：「おおさか希望大使」森井 洋一郎 氏 他1名
永田 久美子 氏

進行：公益社団法人認知症の人と家族の会大阪府支部 副代表 中村 淳子

『おれんじドアおおさか』

野菜マルシェ

産地直送の
新鮮野菜を
販売します！



【主催】公益社団法人認知症の人と家族の会大阪府支部

【共催】大阪府・大阪市 【後援】厚生労働省

【問合せ先】おれんじドアおおさか

メール：orange0611door@gmail.com

電話：090-4034-2260

お申込み方法については
裏面をご確認ください！

お申込み方法

お申込み方法は、「大阪市行政オンラインシステム」による**電子申請のみ**となります。

【申込締切】 2026 年 9 月 11 日（金）

※**申込先着順**。定員に達しましたら、お断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。
(手順)

① 下記URLもしくは右QRコードから「大阪府行政オンラインシステム」にアクセス

<https://lgpos.task-asp.net/cu/271004/ea/residents/procedures/apply/d98f7fc0-8814-42d6-b8b4-b0991efeea2f/start>

② 「申請できる手続き一覧」の「個人向け手続き」より「認知症月間記念講演会」を検索し、必要事項を入力をいただいたうえでお申込みください。

※**セミナーを受講するにあたり、配慮が必要な方は、お申込みの際入力フォームにその旨ご記載ください。**



会場までのアクセス

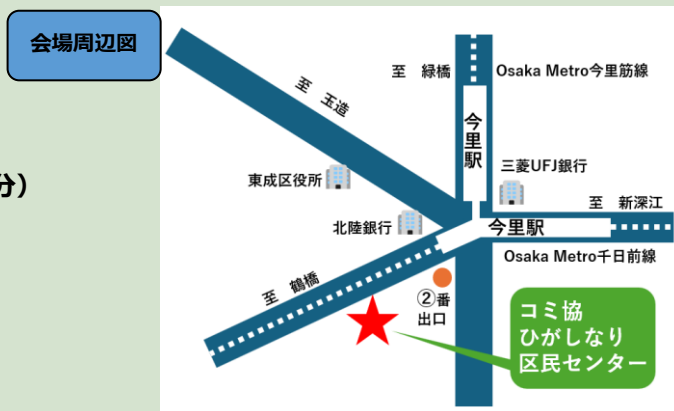
会場：大阪市立東成区民センター 小ホール（所在地：大阪市東成区大今里西3-2-17）

【公共交通機関でのご来館の場合】

- ・大阪メトロ千日前線・今里筋線「今里駅」下車
2番出口から西へ（徒歩約3分）
- ・エレベーターご利用の方
3番出口から「今里交差点（五叉路）」を渡り西へ（徒歩約3分）

【車でご来館の場合】

- ・会場には**無料の駐車場はございません。**
近隣のコインパーキングをご利用ください。



登壇者のご紹介

永田 久美子 氏（認知症介護研究・研修東京センター センター長特命補佐）

新潟県出身。千葉大学大学院看護学研究科修了。東京都老人総合研究所（現：東京都長寿医療センター研究所）を経て2000年に現職場。

自分らしく暮らし続けられること・生きることテーマに、本人が初期から最期まで声と力を発揮し続けることの支援、本人の声を起点にしたケアと人材チーム育成、認知症の有無にかかわらずともに伸びやかに暮らしていくための地域に根差した共生のまちづくり等に取り組んでいる。

現在、厚労省、経産省等の研究事業の委員、NHK厚生文化事業団「認知症とともに生きるまち大賞」選考委員長。

【おおさか希望大使とは？】

「おおさか希望大使」とは、認知症になっても前向きに希望を持って暮らしていけることを自ら発信する、認知症ご本人の方のことで、現在4名の方が知事より委嘱を受け、ご活躍されています。

おおさか希望大使の紹介やPR動画のご視聴はこちら



◆ 森井洋一郎 さんのプロフィール

泉佐野市在住 63歳（令和7年9月委嘱時）

- ・アルツハイマー型 若年性認知症
- ・51歳の頃からもの忘れの症状があり、55歳で診断を受ける。
- ・56歳で会社を解雇されてから半年間閉じこもった時期もあるが、受診した4つ目の病院で信頼できる医師や支援者と出会い、その医師が勤める泉南市の白井病院で勤務



©2014 大阪府もずやん

◆ 氏名・非公表（女性）さんのプロフィール

堺市在住 57歳（令和7年9月委嘱時）

- ・アルツハイマー型 若年性認知症
- ・50代（4年程前）で字が書きにくくなり、手に不自由を感じる。勤務中、車の出庫で反対方向に進みおかしいと気づく。会社の産業医の勧めもあり受診にて診断される。
- ・会社の人、友達、子どもが小さい時から助け合ったママ友とお話するのが楽しみ。